

鶴 群

釧路市タンチョウ鶴愛護会

〒085-0245

釧路市阿寒町上阿寒 23 線 38 番地

釧路湿原美術館内

Tel 0154-66-1117 Fax 0154-66-1121

(題字：加藤 秋霜氏) < 皇太子殿下御歌碑より抜粋 >



3 月 5 日開催 千年祭 丹頂結婚式にて

丹頂結婚式でタンチョウの鳴き声に祝福される土井さんと金子さん

今シーズンの活魚給餌は、2 月 28 日で終了いたしました。

釧路市タンチョウ鶴愛護会 会長 吉田 守人



活魚の資金募集について、当ホームページや新聞報道によって全国各地から不足分一口 1 万円で 20 万円の資金募集を行った結果、265,000 円の資金が集まりました。ご寄付いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

お陰様で 1 シーズン必要とされた 1,000kg の活魚ウグイの調達が目処が立ち注文し喜んでおりました。

ところが、十勝管内や釧路管内で高病原性鳥インフルの鶏での発生や野鳥の死骸が見つかるなどしたため、環境省の指導の下 12 月 15 日から活魚の給餌を中止しておりました。なかなか再会の目処が立たない中、2 月 15 日から猛禽類を近づけないで給餌を行う方法を探るための実験給餌を再開いたしました。が、釧路市動物園の強い指導の下で大きなウグイは小さくカットしてバケツに入れる方法での給餌をすることになり、実験を行いました。がバケツには首を入れてくれません、近くに撒いたウグイは食べるのですが思う様にはなりません。

カットしたウグイは一呑み出来れば猛禽類は全く寄って来ません。そこで小さくカットしたウグイを以前のように撒きたいのですが、動物園の許可が出ず残念です。

活魚の給餌はもう少し続けたかったのですが、例年の通り 2 月 28 日で終了となりました。

阿寒の給餌場に飛来するタンチョウは、繁殖率が高いとされているのは、先人が苦勞して与えてきた活魚の賜と信じております。

今シーズンは、用意した半分も与えることが出来ませんでした。が、余ったウグイはタンチョウ鶴自然公園や、国際ツルセンターで飼育されているタンチョウに与えられます。また、余った資金は来年の資金にいたします。来シーズンは、鳥インフルの発生がなく以前のように給餌が出来る事を願い、ご寄付いただいた皆様に感謝申し上げますと共に来年以降も同様に行いたいと考えておりますので今後とも宜しく願い申し上げお礼のご挨拶と致します。



タンチョウが見守る中で縁起の良い南部俵積み唄に
笑顔を浮かべる新郎新婦

永遠の愛タンチョウも祝福

阿寒の里で千年祭

釧路市阿寒町の冬の祭典「第6回阿寒丹頂の里千年祭」が5日、同町の道の駅周辺施設で開かれた。阿寒丹頂の里プロジェクト委員会（吉田守人会長）が主催し、毎年恒例となった丹頂結婚式などが行われ、多くの来場客でにぎわった。死ぬまで添い遂げるといふタンチョウのつがいにあやかった丹頂結婚式は、タンチョウ観察センターで実施。交際1年を経て入籍した厚岸町出身の土井新吾さん（29）と金子夏野さん（22）が挙式。阿寒神社宮司による特別の祝詞が奏上され、

（藤井若菜）



ヒートボイスライブ



お祭りのようす

市阿寒町行政センターの古川幸男センター長から結婚証明書を受け取った。

この日は絶好の式日間で、証明書を受け取った瞬間にタンチョウが一斉に鳴き始めるなど、親族や来場者も含め新郎新婦を祝福した。土井さんは「少し寒かったけど良い思い出になりました」、金子さんも「千年夫婦仲を続けたいです」と笑顔で話していた。

釧路新聞 平成 29 年 3 月 6 日掲載

----- 第6回阿寒丹頂の里千年祭 -----

阿寒丹頂の里プロジェクト委員会 事務局長 坂本 淳（愛護会副会長）



過去5回の千年祭は悪天候にぶつかる事が多かったため、第6回目の千年祭は、3月5日に開催しようと決めたのは前年の11月。その時は、多少とも暖かい時期でのイベント開催で、準備や当日の運営も楽になるかなと思っておりましたが、当日は天気は晴でしたが風が強く、テントが飛ばされる危険を感じながら千年祭を進行する事となりました。

一週間前の2月25日に赤いベレーで開催した「第3回鶴酒たしなむ会」は予想を上回る多くの方にご参加いただき盛況だった事もあり、このまま千年祭に良い風が吹けばと思っていましたが、まさか暴風にみまわれるとは・・・

それでも、久々にタンチョウ観察センターに会場を移して挙行した、丹頂感謝祭と丹頂結婚式は、飛来したタンチョウの数は少なかったですが、おごそかな雰囲気

で行われ、釧路市からご参加頂いた1組のカップルにも喜んで頂いたのがなによりでした。

道の駅クレインズテラス前で実施した千年祭の各行事も、多数のお客様のご来場とはいきませんでした、事故も無く無事に執り行う事が出来ました。

特に、初めて取り組んだ丹頂千年鍋は好評で、多くの方に食して頂きましたし、阿寒小・阿寒中学校児童による、タンチョウ保護活動発表会や、ヒートボイスのライブ。スズキ×スズキのジャズライブなど、特色あるステージで会場を盛り上げて頂きました事、出演者の皆様や、開催にご尽力頂いた関係各位に心からお礼を申し上げる次第です。

来年の第7回阿寒丹頂の里千年祭に向けて、また新たな試行錯誤の日々が続く事となりますが、できる限り頑張っていきたいと思っております。

鶴だより



釧路市動物園 園長補佐 松本 文雄

3月になり、寒さも緩んできました。給餌場に集まっていたタンチョウたちも、徐々に繁殖地である湿原への移動を始めているのか、飛来数が減ってきました。

今年は10月下旬から阿寒の里に集まり始めましたが周辺の畑などを転々とする事が多く、給餌場にはあまり集まりませんでした。早い時期に飛来したヒナ連れ家族が給餌場を占有し、飛来してきたツルを追い払っていたことが影響しているかもしれません（給餌場では最初に飛来したツルが、独占しようとして他のツルを追い払うことがしばしば見られます）。



しかし、12月上旬ころから最低気温が-10度を下回り、積雪も始まったころから急激に飛来数が増加し、12月19日には300羽を超えました。それにしても、今年の越冬数の増え方は異常でした。12月中に300羽を超えたのは初めての事です。12月中旬から1月にかけて300羽前後のタンチョウが阿寒周辺で越冬したと見られます。

一方で、一昨年からは環境省の給餌量削減事業が始まりトウモロコシの配給量は一昨年の2割減です。餌は減っているのですが、越冬数は増えているため、朝に撒かれた餌は、早い時間に無くなってしまい、時には昼頃には

餌がなくなっていることもありました。タンチョウはねぐら入りの前に食べ貯める習性があるようで、いままでは夕方になると、給餌場に集まり、暗くなる前まで一生懸命食べる姿が見られたのですが、今年は食べるものがないので、早々に給餌場からいなくなっていました（他で食べ物を探していたのでしょうか）給餌場で座り込んでいるツルも見られました。

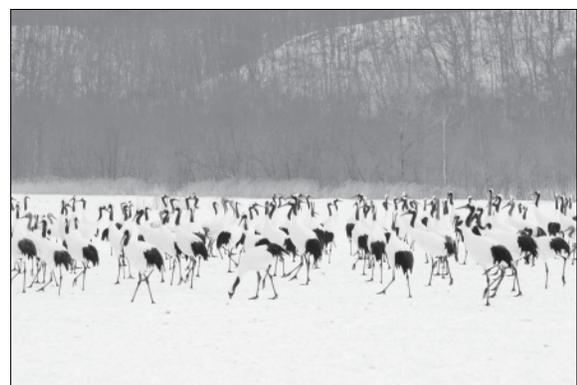
環境省の給餌量削減の目的は、餌を減らすことによって、タンチョウが食べ物を探して別の場所に移動し越冬地を分散させていくことでした。しかし、実際はそのようにはならず、食べるものが不足しても、その場に留まりました。足環をつけたタンチョウの追跡によって、真冬の間にもあちこち移動していたツルが例年よりも多くいたことがわかっています。給餌量削減は鶴居村でも行っているため、戻ってくるツルも多かったのではないのでしょうか。食べ物がなければ、すぐに別の場所に行けばよいのですが、餌を探して居続けたのかもしれません。意外と融通の利かないツルの習性を理解して、ツルの分散化に取り組んでいく必要があるでしょう。

タンチョウ鶴のギャラリー(ホームページより)

山崎 定作さんの投稿作品



(飛翔)



(集団)

鶴クイズ結果

平成 29 年 1 月 1 日午後 1 時の飛来数

結果発表

213 羽

総応募数 1043 通

〈乱舞賞〉

東京都八王子市 桑原田 紀代子 様	北海道小樽市 穆 丹丹 様	千葉県浦安市 西橋 友理 様
埼玉県さいたま市 佐久間 ひとみ 様	埼玉県和光市 仲田 光二 様	滋賀県東近江市 井田 寿一 様
神奈川県大和市 山本 美智子 様	北海道釧路市 西村 洋一 様	北海道芽室町 速水 一枝 様
埼玉県さいたま市 鎌田 陽野 様	福岡県北九州市 堤 千恵 様	北海道釧路市 紺野 琉香 様
北海道札幌市 能代谷 菜美 様	北海道帯広市 佐藤 俊彰 様	東京都豊島区 広田 玉恵 様

〈飛翔賞〉

青森県板柳町 斉藤 隆 様

〈賛歌賞〉

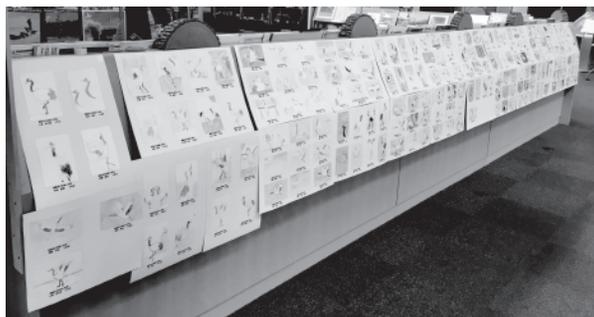
大分県大分市 月村 天秋 様
 石川県金沢市 河西 健二 様
 東京都港区 小沢 一敬 様
 北海道根室市 菊地 孝幸 様
 新潟県新潟市 諸橋 孝洋 様

〈楽園賞〉

東京都足立区 石塚 洋子 様	広島県広島市 上杉 佳子 様	埼玉県さいたま市 遠藤 愛 様
熊本県熊本市 麦島 レイ子 様	大阪府藤井寺市 松崎 裕之 様	岐阜県端浪市 水野 耕二 様
岡山県岡山市 岡本 明子 様	北海道釧路市 金谷 典子 様	神奈川県横浜市 北島 一郎 様
北海道札幌市 桑田 奏 様	静岡県浜松市 池谷 勝利 様	香川県高松市 高橋 俊一郎 様
東京都西東京市 永田 優介 様	大阪府茨木市 轟 真希 様	愛知県名古屋 石倉 武 様
東京都東村山市 浅見 流 様	北海道釧路市 渡辺 美里 様	兵庫県西脇市 内橋 弘文 様
東京都府中市 吉澤 安貴子 様	大阪府高槻市 沖胡 博雅 様	神奈川県横浜市 岡村 まち子 様
北海道上富良野町 柿原 春枝 様	北海道釧路市 菅原 静夏 様	広島県福山市 浜田 順子 様
兵庫県神戸市 井倉 康恵 様	新潟県新潟市 村川 和彦 様	東京都世田谷区 早川 みさ江 様
静岡県裾野市 増田 ハルコ 様	北海道北見市 石毛 春菜 様	大分県大分市 月村 高志 様

イラスト展

平成 28 年 12 月 26 日～ 29 年 2 月 26 日 (ツルセンター)



阿寒幼稚園・まりも幼稚園・認定こども園よしの・阿寒小・鶴野小・湖畔小・桜ヶ岡小・武佐小の皆さん 317 名から投稿して頂いたイラスト。どれも力作ぞろいで、みんな思い思いのタンチョウを描いて下さいました。

標語コンクール

平成 29 年 2 月 3 日～ 29 年 2 月 26 日 (観察センター)

最優秀賞

●平良 咲季 (阿寒湖小 5 年)
タンチョウが 住んでる湿原 守りたい

優秀賞

●佐々木 結菜 (阿寒湖小 1 年)
タンチョウ 元気いっぱい あおぞらに

●小竹 千茄 (阿寒湖小 3 年)
タンチョウの きれいな鳴き声 いつまでも

佳作

●岡田 柚生 (阿寒湖小 1 年)
タンチョウは 大すきだから まもりたい

●小さか しゅり (新陽小 1 年)
まってるよ たんちょうかぞく ふゆのそら

●藤田 旭陽 (阿寒湖小 2 年)
みんなで まもろうね タンチョウ

●大の かりん (阿寒湖小 3 年)
たいせつな タンチョウみんなで 見まもろう

●広野 大地 (阿寒湖小 5 年)
タンチョウの 釧路湿原 守ろうよ

●飯塚 華南心 (阿寒湖小 6 年)
つるの愛 その愛もきっと 宝物